

『ワクチンと予防接種のすべて 第3版』掲示板 その4

(2020年7月30日)

7月に入り、ワクチン分野にも具体的な動きがありましたので、お知らせいたします。

■ 9価HPVワクチン・シルガード9の承認

厚生労働省は2020年7月21日、9価HPVワクチン・シルガード9（組換え沈降9価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン、MSD社）の製造販売を正式に承認しました。日本ではHPVワクチンは2価ワクチン（サーバリックス、GSK）と4価ワクチン（ガーダシル、MSD）が承認されていますが、9価ワクチンの承認はわが国最初となります。

今回承認されたHPVワクチンがカバーする遺伝子型は、ガーダシルがカバーしている6、11、16、18型に加え、31、33、45、52、58型を含めた9型になり、子宮頸がん全体の90%近くを予防するものです。効能・効果は子宮頸癌（扁平上皮細胞癌及び腺癌）及びその前駆病変（子宮頸部上皮内腫瘍（CIN）1、2及び3並びに上皮内腺癌（AIS））、外陰上皮内腫瘍（VIN）1、2及び3並びに腔上皮内腫瘍（VaIN）1、2及び3、尖圭コンジローマであり、男性のHPV関連腫瘍にも拡大されています。今後、本ワクチンの定期接種化に向けて、厚生労働省で審議が開始される見込みです。

■ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）用のワクチンの年内実用化は無理だろうとWHOの幹部が明言

7月22日のロイター電によると、世界保健機関（WHO）の緊急事態に対応する高官は、COVID-19ワクチンについて、後期臨床試験が開始されるなどの研究開発に進展はみられるものの、2021年の初めまでには、ワクチンの実用化は無理だという見解を示しました。残念な事態ですが、ワクチンの開発には効果や安全性、品質の確保にも少なからず時間をとることもあって、多くの専門家は同様の見解を持っています。

なお、厚生労働省は7月22日、抗炎症薬デキサメタゾンをCOVID-19治療薬として承認しました。本年5月に承認されたレムデシビル（ギリアド・サイエンシズ社）に続く第2例のCOVID-19治療薬になります。レムデシビルは供給の確保が難しく高価であるのに対し、デキサメタゾンは肺炎や感染症に広く使用されているステロイド薬で、後発薬も販売されており、供給量も十分です。また当然、安価です。